

国語教育 理論 研修会 終了報告

テーマ	文学的文章教材における『個別最適な学習』の取り入れ方の工夫	
日時	令和7年 9月 12日(金)	
会場	江別市立江別太小学校	
講師	青山 由紀 氏(淑徳大学 教授)	
参加者	67名	
研修会 の 様子		岡田淳氏著『ピータイルねこ』という教材を使って、江別太小4年1組の児童に授業を行っていただいた。音読の方法、内容の読み取りの仕方等、随所に、子どもたちが取り組みやすい工夫がされていた。
		文学的文章教材の導入の時間の授業であった。本来ならば2時間で行う内容を、1時間で行っていただいた。内容理解につながる、話の筋、話の構造、物語の設定等の、効果的な読み取り方をご提示いただいた。
		授業の後は、事後研を行った。学年の発達段階における読む力の系統性や、文章全体を捉えるうえで読むポイント等を教えていただいた。初めと終わりで人物がどう変容したか、その時、行動の変容だけでなく内面はどう変容したかを読むためには、語彙力や、日頃から行間を読む訓練が必要であるとのこと。言葉を根拠にした想像力で行間を読み取ることが、深い読みにつながることを教えていただいた。
		今年度の国語(小)部会の研究テーマである、国語科における「個別最適」に関わる、講演をしていただいた。「個別最適」を実現するには様々なクリアすべき問題がある。国語科において、児童にとって有益な個別最適な学びを実現するためには、まずは児童が学びたいと思える「問い」があり、身に付けさせたい力が明確であること。その上で効果的な、学習形態や学習方法を与えることが指導者には必要であることを教えていただいた。